

研究所報告

加山 久夫

これからの2年間、斉藤栄一主任と私が引き続き研究所運営の任をお預かりすることになりました。皆様のご協力をお願いいたします。この4月から新たに岡村有希子さんを副手として、西澤由隆先生（法学部）と松本曜先生（文学部）を所員としてお迎えすることができ、大変嬉しく思います。また、キリスト教主義教育研究およびヘボン研究のためにそれぞれ太田孝子研究員と佐々木晃研究員をお迎えしたことも、これからの研究活動のために心強いことです。さらに、新たに金井創学院牧師のほか、キリスト教主義教育研究プロジェクトの協力研究員として小暮修也先生（明治学院高校）、貴田寛仁先生（明治学院高校）および和田道雄先生（明治学院東村山高

校）に参加していただけますことは、明治学院全体の有機的な協力関係の強化のためにも、大変嬉しいことです。

本研究所は、1996年4月に、大学付属の研究所として新しい出発をいたしました。したがって、今年には創設30周年の年にあたり、今秋にはささやかな記念の会を催し、共に感謝の時を持ちたく予定しています。そのころには、研究所編『私にとってのキリスト教—学問と信仰—』（教文館）が出版されていることと思いますので、その出版記念を兼ねた機会といたしたく思っています。この書物は学内外の方々のご協力をえて、キリスト教信仰と学問研究の関係を問い、知の在り方を問うことを意図したものです。本研究所が、キリスト教の諸分野の研究とともに、キリスト教主義大学としての本学の将来像やそれにふさわしい大学教育の在り方などをともに探る努力もしてゆきたく思っています。そのためにも、皆様のご鞭撻をお願いいたします。

なお、このニュースレターがお手許に届くころには、研究所は新本館北ウィング9階に移転していることと存じます。八芳園の美しい庭園が眼下に見える素晴らしいところです。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

（かやま ひさお

所長、一般教育部教授）